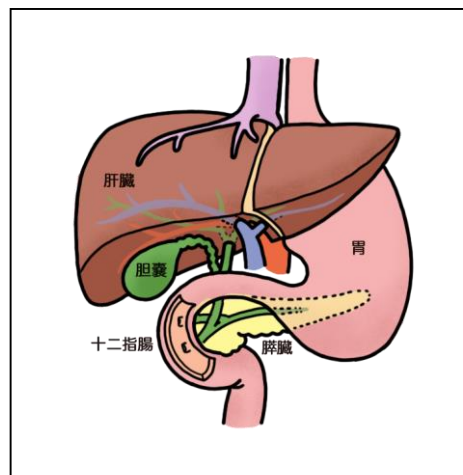


膵臓・胆道プレミアム検診（1泊2日・院内泊・食事付き）

膵胆道がん（膵臓がん、胆管がん、胆嚢がん、十二指腸乳頭部がん）は、早期には自覚症状が少なく、多くが進行した状態で発見されることもあり、他のがんと比べて5年生存率が低いことが分かっています。

特に膵臓や胆管の一部は腹部体表から深い位置に存在することから、腹部超音波検査では胃腸のガスや脂肪組織の影響で非常に見えにくいことが少なくありません。

そのため、これらの臓器の描出に優れた検査方法を用いることが、この難治がんの早期発見につながる可能性があります。この機会に是非、膵臓と胆道を詳しく検査してみたい方が多いのではないでしょうか。特に以下のような方に当検診を受けられることをお勧めします。万一、更なる精密検査や治療が必要となった場合でも、当院の膵胆道専門の医師が対応しますのでご安心ください。お申し込みやご不明な点は当院健診センター（022-252-1255）までご連絡ください。



特に以下のような方に当検診を受けられることをお勧めします。万一、更なる精密検査や治療が必要となった場合でも、当院の膵胆道専門の医師が対応しますのでご安心ください。お申し込みやご不明な点は当院健診センター（022-252-1255）までご連絡ください。

次のような方に検診をおすすめします

- 煙草を毎日吸っている方
- 週5日以上お酒を飲む方
- 肥満に該当する方
- 血縁者に膵臓がんや胆道がんになった方がいる
- 糖尿病の診断がされている方
- 膵臓の異常を指摘されている方（慢性膵炎、膵のう胞等）
- 胆道の異常を指摘されている方（胆石、胆嚢壁が厚い、5mm以上の胆嚢ポリープ等）

●2018年の死亡数が多い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

※元データ：人口動態統計による全国がん死亡データ
（エクセルのnumberシートを参照）

検査料金：99,000円（税込）

※検査項目など詳細は裏面をご覧ください。

注意事項：

- ①MRCP 検査では強い磁気を利用するため、心臓ペースメーカーや手術、刺青などで体内に金属がある方は受けることができません。
- ②妊娠中の方（妊娠の可能性のある方）、授乳中の方は受けることができません。
- ③閉所恐怖症の方は受けられない場合があります。
- ④胃の手術や全摘出をした方は受けられない場合があります。

検査項目：

① MR 胆管膵管画像 (MRCP)

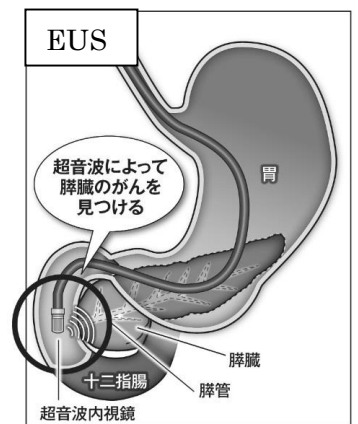
膵管（膵臓の中の膵液の通る管で、最終的に十二指腸乳頭部につながっている）、胆嚢、胆管（肝臓で作られた胆汁の通り道で、最終的に十二指腸乳頭部につながっている）を撮影する MRI（磁気共鳴画像）検査です。膵管や胆管の太さを評価することに優れており、

この異常（通常より太い、または狭いところがある）は膵胆道がんの初期の兆候として重要な所見です。また、近年がんの発見に有用と報告がある拡散強調画像（diffusion weighted image: DWI）も同時に行うことで、より膵胆道領域のがんの発見を後押しします。



② 超音波内視鏡検査 (EUS)

専用の内視鏡（先端に小さなエコーがついた胃カメラ）を口から挿入して、胃または十二指腸まで進めます。これらの腸の中から内視鏡の先端についた超音波装置を用いて膵臓、胆管、胆嚢を超音波で描出します。他の画像検査では発見困難な小さな膵臓がんの描出などに優れています。一般的に内視鏡検査は負担のかかる検査ですが、この検査では受検される方の状態に合わせて鎮静剤の種類や量を決めて、可能な限り苦痛が無いように配慮して行います。十分な経験の積んだ胆膵内視鏡医が検査を行い、通常は 10 分ほどの検査で、ほとんどの方は苦痛なく検査を終えることができます。



③ 血液検査

腫瘍マーカー（CEA、CA19-9）肝胆膵系酵素（GOT、GPT、ALP、 γ -GTP、T-Bil、D-Bil、アミラーゼ、リパーゼ、エラスターゼ1）

検診の流れ：

- ・ 1 日目（木曜日） 15：20 受付
- 15：30 着替え・身体測定・血圧測定・採血・問診・医師面談
- 16：00～ MRCP 検査
- 17：45 食事
- ・ 2 日目（金曜日） 8：30 点滴針留置
- 8：45～ EUS 検査
- 10：00 診察・結果説明
- 10：30 食事
- 11：00 終了



※時間は目安となります。